

北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第52週(令和7年12月22日～令和7年12月28日)

<発生動向>

第52週は、結核の報告が6件ありました。結核の主な症状は咳や痰、発熱等で風邪の症状に似ていますが、風邪との違いは症状が数週間続き、治ったと思ったらまた繰り返すことです。2週間以上、咳や痰が続く時は医療機関を受診しましょう。

定点あたりの報告数は急性呼吸器感染症で100.48、インフルエンザで42.00と減少しましたが、インフルエンザは7週連続で警報レベルです。引き続き、咳エチケットやこまめな手洗い、換気など基本的な感染対策を心がけましょう。伝染性紅斑の定点あたり報告数は0.54に低下し、終息基準値1を下回りましたので、警報解除となりました。

連休中に海外渡航に行かれた方が帰国後に体調を崩した場合は、医療機関を受診する際に海外渡航歴があることを伝えましょう。

次回(令和8年第1週)の発表は1月9日(金)となります。

■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	6	172	20	773	244	13,975
腸管出血性大腸菌感染症	1	50	4	284	47	4,275
水痘(入院例)	1	5	1	33	8	647
梅毒	3	119	13	770	138	13,294
百日咳	1	422	7	3,232	377	88,975

■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	5	0.22	0.00	49	0.40	4,778	1.24
インフルエンザ	966	42.00	71.61	4,239	34.75	126,127	32.73
急性呼吸器感染症	2,311	100.48	123.52	8,842	72.48	296,974	77.34
RSウイルス感染症	4	0.31	0.62	38	0.54	1,480	0.63
咽頭結膜熱	12	0.92	0.62	61	0.87	750	0.32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38	2.92	3.08	349	4.99	6,512	2.77
感染性胃腸炎	175	13.46	12.15	449	6.41	12,510	5.33
水痘	3	0.23	0.23	25	0.36	908	0.39
手足口病	2	0.15	0.08	17	0.24	136	0.06
伝染性紅斑	7	0.54	1.00	25	0.36	1,191	0.51
突発性発しん	6	0.46	0.15	27	0.39	509	0.22
ヘルパンギーナ	0	0.00	0.00	9	0.13	51	0.02
流行性耳下腺炎	1	0.08	0.08	2	0.03	80	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	9	0.01
流行性角結膜炎	3	0.50	0.50	33	1.27	419	0.60
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	15	0.03
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	13	0.03
マイコプラズマ肺炎	2	1.00	0.50	6	0.40	389	0.81
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	6	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	0	0.00	12	0.02

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。

※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。

○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。